

**DATA：臨床検査科**

- 日本病理学会認定施設B、日本臨床細胞学会認定施設
- 主な検査：【病理検査室】生検および手術摘出標本に対する病理組織診断、体液・尿・喀痰などの細胞診、病理解剖（剖検）、迅速病理診断など【生理検査室】心電図（マスター負荷心電図含む）、ホルター心電図、肺機能検査、血圧脈波検査（ABI）、心エコー、頸動脈エコー、終夜睡眠ポリソムノグラフィー（PSG）、術中神経モニタリング（MEP）など【血液・輸血センター】血液分析、血液細胞（末血・骨髓）鏡見、輸血検査の血液型、不規則抗体、交差適合試験など【検体検査室】生化学・免疫血清検査、尿検査、細菌検査など

検査と診断を担う

医療においては、正確な診断に基づいた的確な治療方針の決定が重要です。この正確な診断を行うにあたり、様々な検査によって得られたデータは欠かすことのできない情報のひとつです。加えて診断だけではなく治療方針が適正かどうかの確認や、疾患を予防する観点においても検査データは必要です。病理検査室、検体検査室、生理検査室、中央採血室、輸血センターからなる当科は、この重要な検査データを正確かつ迅速に提供することを目標に日々業務に努めています。

専門性の高い検査体制

検体検査部門、生理検査部門では、より高い精度の検査を目指して技術の向上に努めています。当科のスタッフは細胞検査士7名、超音波検査士4名、日本睡眠学会認定検査技師3名、緊急臨床検査士1名、千葉県糖尿病療養指導士2名など専門性の高い資格を取得しています。なかでも日本睡眠学会認定検査技師は千葉県には8名しかおらず、そのうち3名が当科に所属していることとなります。

病理部門は常勤医2名（病理医、口腔病理医）、

**医療の根柢を担う、臨床検査科**

客員教授2名、非常勤医2名と常勤臨床検査技師4名、非常勤臨床検査技師2名によって運営されています。病理部門の第一の役割は、生検検体や手術摘除検体から作成された病理標本による組織診断、穿刺吸引検体などからの細胞診によって最終診断を行うことにあります。また、一般的な病理診断に加え、手術の切除範囲の適否を判定するための術中迅速診断も重要な役割です。

病理部門と臨床各科、放射線科などの医師が一同に会し、ひとつの症例について検討する「カンサーボード」は、診断能力と治療方針決定の判断力を研鑽する場となっています。加えて死亡した患者様の病理解剖を行い、臨床診断と治療方針の適否を検討する「臨床・病理カンファレンス」は、よりよい治療方法を生み出すための大きな糧となっています。こうした医療の質自体をレベルアップするための貢献も、当科の重要な役割のひとつです。

腎移植を支える、口腔がんを診断する

当院の泌尿器科を中心に開設された「腎不全治療センター」において、腎移植件数が増加していることに伴い、腎生検の検査数も増加しています。多くの検査をこなす事で経験を積み、診断技術と判

多くの検査をこなし診断する。日々の研鑽が糧になる

臨床検査科

断能力を養っています。

また地域との連携では、口腔がんに対して市川市歯科医師会と連携した「市川市口腔がん早期発見システム」を構築しています。地域の診療所で採取された細胞検体は当科に送られ、そのすべてを診断しています。当院は全国唯一である「口腔がんセンター」を持つこともあり、口腔がん病理診断数でも全国のトップレベルにあります。

国際標準を目指して

検査を通じた診断によって、日常診療を支える当科の特性上、常に精度の向上、時間短縮などを念頭に置いています。こうした課題を解決するために、2ヶ月に1回、医師、看護師なども含めた臨床検査運営委員会を開催しています。

そして今、検査体制を国際標準のレベルとするためにISO15189（臨床検査室認定）を取得するための取り組みを始めています。ISO15189は、臨床検査室における品質マネジメントシステムと検査技術能力について国際規格であることを認証するものです。このため作業手順の文書化や記録の保存、環境の改善など様々な取り組みが必要となります。これによって今まで以上に精度の高い検査を提供できるようになります。検査精度の高さは、患者様の負担も軽減でき、結果として病院サービスの向上につながるとも考えています。

臨床検査科は直接外部の先生方と接する機会の少ない部門です。しかし、各臨床科の診断と治療を的確に支えることで、地域の先生方との連携を強めていきたいと考えています。

患者様紹介について

病理診断のセカンドオピニオンは、患者様が受診される各診療科経由で受けつけています。とくに歯科分野の専門性は高く、症例数も豊富ですので診断に有利な条件が多数そろっています。

医科、歯科問わず経験豊富なスタッフとともに的確な診断をいたしますので、安心してご紹介ください。

information

市川リレーションシップカンファレンスを開催します

地域のみなさまに安心して医療を受けていただくための体制構築に向けた、東京歯科大学市川総合病院と地域の先生方を結ぶ新たな取り組み“市川リレーションシップカンファレンス”。紹介・逆紹介においてそれぞれの専門性を最大限に活かせるように、相互理解を目的としたカンファレンスです。

- ❖ 日程：平成29年9月19日(火)
- ❖ 時間：19:30～21:00
- ❖ 場所：東京歯科大学市川総合病院 角膜センター3階会議室

- 1) 私の診断は絶対・・・ではない？
- 2) 口腔細胞診 一口腔がんの早期発見に向けてー
- 3) CPC解説

みなさまのご参加、お待ちしております。



教授
佐々木文

医療機関の先生方へ

市川総合病院 診療情報提供書

検索

当院と地域の病院・診療所の先生方との間で、患者様のご紹介などを円滑に行えるように、「地域連携・医療福祉室」を設置しています。ご不明な点がございましたら、下記へお尋ねください。

地域連携・医療福祉室 TEL 047-322-0151(内線2214) FAX 047-324-8539(直通)

開室時間 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時 土曜日：午前9時～午後1時(第2土曜日は休診日)